



藤谷 謹至 議員  
(拓政会)



幕別町の地域防災計画にはBCPを策定・運用するよう努めるとあるだけで計画策定に至っていないのが現状である。さらに、ライフラインのBCP対策も必要であると考えるが、以下について伺う。

- (1) 幕別町におけるBCP策定についての取組状況、非常時優先業務の整理について。
- (2) BCPに係る本庁舎の有する災害時の対応能力は。
- (3) データのバックアップ、ICT機器損傷の対応。
- (4) ライフラインのBCP策定の考えについて。

**町長** (1) BCPの策定等に当たっては、①首長不在時の明確な代行順位及び職員の参集体制、②本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定、③電気・水・食料等の確保、④災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保、⑤重要な行政データのバックアップ、⑥非常時優先業務の整理の6



本庁舎設置の自動販売機4台は、災害時、飲料を無料提供できる

**問** 災害時等における幕別町のBCP（業務継続計画）について

**答** 今年度以降、6つの要素を包括した計画の策定を進めていきたい

つの要素が特に重要な要素とされている。このうち、非常時優先業務の整理を除き、既に取組を実施しているが、これら6つの要素を包括した計画の策定を進めていきたい。

- (2) 非常用発電機とその燃料を3日分確保しており、突発的な停電時においても、各部署でパソコン等を使用することが可能である。
- つながりやすい通信手段としては、規制を受けずに優先的に発信できる優先電話を確保するとともに、衛星携帯電話を幕別、札内、忠類地域に各1台確保している。

- (3) 各種データは、複製したデータを業務終了後に磁気テープ記憶装置にバックアップし、加えて、役場庁舎外への転送を行っており、磁気テープへの保存とあわせてバックアップを行っている。

大規模な停電への備えとしては、一定時間停電することなく電力を供給し続ける無停電電源装置の設置と、自家発電設備による非常用電源により電力の供給ができるように構築している。

- (4) 災害時優先して通行を確保すべき道路として、地域緊急輸送道路の整備に取り組んでおり、ライフライン全体のBCP策定については、今後進めるBCP策定の中で、あわせて取り組んでいきたい。

**再質問** 地域防災計画を補完するためにBCPを早急に作成すべきではないか。

**答** 被害状況の把握から平常業務まで、いかに優先業務を選択してやっていくかについて定めていきたい

い。

**問** 白銀台スキー場の営業について

**答** 冬の大切な観光資源であり、利用者増の対策に取り組む



忠類地域における冬季間の重要な観光資源であり、地域経済にも寄与する白銀台スキー場の確実な早期オープンを実現するため、以下について伺う。

- (1) 冬場の誘客を図り、地域振興のために人工降雪機を設置する考えは。
- (2) リフト使用料を見直し、スキー場利用者の利便性を図り、利用増につなげていく考えは。

**町長** (1) 12月中旬にオープンすることにより、学生の合宿等の誘致が可能になるほか、一般のスキー愛好家も増加するが、気象条件の違いから、ぬかびら源泉郷スキー場のような早期オープンは難しい。人工降雪機設置については、費用対効果が薄く、現段階では難しい。

(2) 地域の飲食店や商店等とタイアップした魅力的なプランの創設や、30日券やシーズン券などのリフト使用料のあり方について、関係団体と協力しながら、利便性の向上や利用者増の対策に取り組む、地域発展に努めていきたい。